議 会 用 語 の 解 説

大 泉 町 議 会

平成25年2月21日作成

令和4年3月30日修正

目 次

委員会 …… 1	議長・副議長 …… 6	調査 …… 11
委員長・副委員長 …… 1	休会 …… 6	陳情 …… 11
委員長報告 …… 1	休憩 …… 6	追加議案 …… 11
委員会条例 …… 1	挙手 …… 6	提案説明 …… 11
意見書 …… 1	起立 …… 6	定刻 …… 11
一事不再議の原則 …… 1	議了 …… 6	定足数 …… 12
一問一答方式 …… 2	継続 …… 7	定例会 …… 12
一括議題 …… 2	決議 …… 7	同意・不同意 …… 12
一括質問 …… 2	公述人 …… 7	動議 …… 12
一般質問 …… 2	公聴会 …… 7	当局 …… 12
インターネット中継 …… 2	採決 …… 7	登壇 …… 12
延会 …… 2	裁決 …… 7	投票 …… 12
演壇 …… 2	採択・不採択 …… 8	答弁 …… 12
開会 …… 2	散会 …… 8	討論 …… 13
会期 …… 3	参考人 …… 8	特別委員会 …… 13
開議 …… 3	質疑 …… 8	二元代表制 …… 13
会議規則 …… 3	執行機関 …… 8	認定・不認定 …… 13
会議録 …… 3	質問 …… 8	諮る …… 13
会議録署名議員 …… 3	指名推選 …… 8	発議 …… 13
会派 …… 3	少数意見の留保 …… 9	発言 …… 13
可決・否決 …… 3	上程 …… 9	発言通告 …… 14
仮議長 …… 3	承認・不承認 …… 9	反問（権） …… 14
議案 …… 4	常任委員会 …… 9	表決 …… 14
議案の提出 …… 4	除斥 …… 9	付議 …… 14
議員活動 …… 4	諸報告 …… 9	付託 …… 14
議員定数 …… 4	審議 …… 9	閉会 …… 14
議員派遣 …… 4	審査 …… 9	閉会中の継続審査・調査 …… 15
議員の政治倫理 …… 4	人事案件 …… 9	傍聴規則 …… 15
議会運営委員会 …… 5	請願 …… 10	傍聴席 …… 15
議会活動 …… 5	政務活動費 …… 10	本会議 …… 15
議会基本条例 …… 5	説明のための出席要求 …… 10	予鈴 …… 15
議会の招集 …… 5	全員協議会 …… 10	臨時会 …… 15
議会報告会 …… 5	全会一致 …… 10	臨時議長 …… 15
議決 …… 5	選挙 …… 10	連合審査 …… 15
議事日程 …… 5	専決処分 …… 10	
議場 …… 5	対面方式 …… 11	
議席 …… 5	多数 …… 11	
議題 …… 6	直ちに裁決 …… 11	

議会用語の解説

用語	解説	根拠規定
いいんかい 委員会	<p>議案その他の議決事項は、本会議で決定されますが、本会議での審議を効率的に行うため、少人数の議員で構成する委員会を設け、議案などを専門的・能率的に調査（審査）しています。</p> <p>委員会には、執行部からの議案等の調査や付託された請願を審査する「総務文教常任委員会」「民生産業常任委員会」、議会の広報や広聴活動を行う「広報広聴常任委員会」と、議会の円滑な運営を図るための「議会運営委員会」があります。</p> <p>また、特定の案件（事項）について調査研究を行うために、設置される「特別委員会」もあり、現在、「新庁舎建設特別委員会」が設置されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第109条 第109条の2 第110条 ・ 委員会条例 ・ 会議規則 第64～76条
いいんちよう 委員長・ ふくいんちよう 副委員長	<p>委員会（常任委員会・議会運営委員会・特別委員会）において互選され、委員長は委員会を代表し、委員会の議事を整理し、秩序を保持します。副委員長は委員長を補佐し、委員長が事故あるときまたは欠けたとき委員長の職務を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会条例 第8～12条
いいんちようほうこく 委員長報告	<p>委員会は、付託を受けた請願等の審査や調査を終えたとき、報告書を作成し委員長から議長に提出するとともに、委員長は本会議で審査の経過と結果の報告をします。</p> <p>また、審査や調査の中間段階で報告を行うこともあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第75条 第76条 第46条
いいんかい 委員会 じょうれい 条例	<p>議会には、「常任委員会・議会運営委員会・特別委員会」の委員会があります。これらの委員会の設置、委員の任期や定数、運営方法など委員会に必要な事項を定めた条例です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会条例
いけんしよ 意見書	<p>地方自治法の規定に基づき、議会は、町の公益に関することについて、国会や国の関係省庁などに対し、議会としての意思を意見としてまとめた文書を提出することができます。</p> <p>意見書の案は、議員又は委員会が提出し、本会議でその可否を決めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第99条
いちじふさいぎ 一事不再議 げんそく の原則	<p>一度議会で議決した議案等について、同じ趣旨のものは同一会期中に議題として取り上げないことをいいます。</p> <p>議会の審議能率を高めるために採り入れています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第14条

用語	解 説	根拠規定
いちもんいつとう 一問一答 ほうしき 方式	一般質問において、議員の一つの質問に対し、その都度答弁を行う方法です。(類：一括質問)	・会議規則 第60条②
いつかつぎだい 一括議題	一議案ずつ議題とするのではなく、議事の能率化を図るために関連する議案を一括して議題とすることです。 「議案第〇号から議案第×号を一括して議題といたします。」と議長は宣告します。一括上程ともいいます。	・会議規則 第36条
いつかつしつもん 一括質問	2以上の質問項目がある場合に、すべての項目を一括して質問し、一括して答弁を求める質問のやり方です。 対面方式にする以前は、本会議の質問はすべてこの方法でした。(類：一問一答方式)	・会議規則 第60条②
いつばんしつもん 一般質問	本会議で、個々の議員が行う町政に対する質問で、質問議員は、議長に対し一定期間内に質問項目の通告を行い、議会運営委員会において、日程等の調整が行われます。なお、質問時間は、答弁を含め50分としています。(同：質問)	・会議規則 第60条 第60条の2
インターネ ちゆうけい ット中継	議会を広く町民に公開し、開かれた町政の推進のため、本会議をインターネットにより生中継及び録画中継（本会議終了後、約1週間後より）の配信を行っています。 (平成24年第2回（6月）定例会より実施)	
えんかい 延会	議事日程に記載された議題の審議が、その日の本会議で終了しないとき、議題を残してその日の会議を終了することを行います。(類：散会)	・会議規則 第23～24条
えんだん 演壇	本会議において発言をする場所として設けられた壇のことをいいます。議員の討論、委員長報告、正副議長の就退任時のあいさつや、執行部の議案の提案説明などを演壇で行います。 演壇に上がることを登壇といいます。(類：登壇)	・会議規則 第49条
かいかい 開会	町長の議会招集に応じて、定例会や臨時会の議会を開くことです。「ただいまから、令和〇年第×回定例会（臨時会）を開会いたします。」と議長が本会議で宣言します。 議会を閉じることは閉会といいます。(類：開議)	・地方自治法 第102条⑦ ・会議規則 第7条

用語	解 説	根拠規定
かいき 会期	議会が会議を行う期間のことで、開会日から閉会日までをいいます。会期の決定は、開会の後、「本日から〇月〇日までの××日間」と、本会議で議決します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第102条⑦ ・ 会議規則第4～6条
かいぎ 開議	その日の会議を開くことです。「ただいまから本日の会議を開きます。」と議長が本会議で宣告します。 その日の会議を閉じることは散会といいます。(類：開会)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則第10条
かいぎきそく 会議規則	本会議の運営に関する一般的な手続及び内部規律等を定めた規則です。 本会議・委員会の議事手続、議会で行う選挙、請願・陳情の扱い、議員の辞職、規律等を定めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第120条 ・ 会議規則
かいぎろく 会議録	本会議の内容を記録した公文書を会議録として作成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第123条 ・ 会議規則第123～126条
かいぎろくしよめい 会議録署名 議員	会議録（原本）に署名する議長以外の議員のことをいいます。各定例会、臨時会の開会日に議長が2名の議員を指名します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第123条② ・ 会議規則第120条
かいは 会派	議会内で同じような考え方や意見を持って活動している議員が結成したグループのことを「会派」といいます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会基本条例第7条
かけつ ひけつ 可決・否決	議決のうち、条例案、予算案、契約締結議案、意見書案、決議案などの原案、修正案を可とするのを可決、否とするのを否決といいます。(類：採決、表決)	
かりぎちよう 仮議長	議長、副議長がともに事故ある（不在の）場合（正副議長が欠けた場合は直ちに選挙を行います）に、議長の職務を行います。なお、仮議長は議会で選挙されるか、議長が事前に選任することも可能です。仮議長は、議長と同様の権限が与えられています。(類：臨時議長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第106条②③

用語	解 説	根拠規定
ぎあん 議案	議会の議決を経るために、町長、議員又は委員会が議長に提出する案件のことです。条例案、予算案、決算認定議案をはじめ、契約締結議案、人事同意議案、専決処分承認議案などがあります。また、広い意味では、意見書案、決議案などを含む場合もあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第96条 第112条 ・ 会議規則 第13条 第37～38条
ぎあん 議案の 提出	議案を議会に提出する権利は、原則として町長と議員（委員会）双方にあります。例外として、予算案など町長に専属するものと、委員会の設置など議員に専属するものがあります。また、議員が議案を提出する場合は、一定数以上の議員の賛成が必要です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第112条 第149条 ・ 会議規則 第13条
ぎいんかつどう 議員活動	議員が議員個人として、住民の相談を受けたり、町政全般について、調査研究や視察等を行うことをいい、政務活動費を使うこともあります。（類：議会活動）	
ぎいんていすう 議員定数	<p>以前は、地方自治法において人口規模等により、議員定数の上限が定められていましたが、現在は、各自治体の条例で議員定数を定めることになっています。</p> <p>大泉町議会の議員定数は、平成25年5月5日の任期より15名となりました。（平成24年12月11日決定 18名→15名）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第90条 ・ 議員定数条例
ぎいんはけん 議員派遣	議会は、(1)議案の審査のため、(2)町の事務に関する調査のため、(3)その他必要があると認めるときに、議員を町内外や海外に派遣することができます。議会の議決でこれを決めますが、緊急の場合には議長が決め、議会に報告します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第100条⑬ ・ 会議規則 第128条
ぎいん 議員の 政治倫理	<p>議会基本条例の制定に伴い議員の政治倫理の基本となる事項を条例として定めました。主な内容は次のとおりです。</p> <p>①町民の代表者として品位や名誉を損なう行為の禁止と職務に関し不正の疑惑を持たれないようにすること。</p> <p>②町が行う許認可や契約等に関して、関与しないこと。</p> <p>③町職員の公正な職務を妨げたりしないこと。</p> <p>④町職員の採用や人事等に関与しないこと。</p> <p>⑤町から補助を受けている団体の役員に就任しているときは、その地位を利用しないこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議員の政治倫理に関する条例 平成24年12月 11日制定 同月19日施行

用語	解 説	根拠規定
ぎかい うんえい 議会運営 委員会	多数の議員で構成される議会を円滑、効率的に運営するため、条例で設置する委員会です。会期、議事日程、議案等の取扱い、質問の取扱いなど、議会の運営や会議規則、委員会条例等に関する事項などを協議、調査、審査します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第109条の2 ・ 委員会条例 第4条の2
ぎかい かつどう 議会活動	議員が本会議や常任委員会等の会議に出席し、町政全般について調査研究を行ったり、委員会等で視察研修を行うことをいいます。(類：議員活動)	
ぎかい きほん 議会基本 条例	町民福祉の向上と豊かな町づくりの実現に向け、議会の基本理念及び基本方針を定め、議会の役割を明らかにするため、平成24年12月に制定、同月施行した条例です。 議会の基本理念及び基本方針のほか、議会運営や議員の活動原則、議会と町長等及び町民との関係、議会の機能強化、議会改革の推進などを規定しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会基本条例 平成24年12月 11日制定 同月19日施行
ぎかい 議会の 招集	議会を開くために、議員に参集することを求める行為で、町長の権限となっていますが、議長（議会運営委員会の議決を経て）又は議員（議員定数の4分の1以上の者）から町長に対して、会議に付すべき事件を示して、臨時会の招集を請求することができます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第101条 ・ 会議規則 第1条
ぎかい ほうこくかい 議会報告会	議会基本条例において、開かれた議会を目指し、町政全般にわたって、議員と町民が自由に意見交換を行える場として、議会報告会の開催をすることを規定しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会基本条例 第9条
ぎけつ 議決	表決（採決）の結果、得られた議会の意思決定のことです。	
ぎじについでい 議事日程	本会議の日ごとに、会議の日時、会議に付する事件及び順序等を記載したその日の会議の進行表のことです。議長が作成し議員等に配付します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第20～24条
ぎじょう 議場	本会議場のことです。議長席、議席、演壇、執行部席、事務局職員席がその範囲で、傍聴席は含みません。	
ぎせき 議席	本会議で議員が着席する場所を指します。議席には、番号と氏名標を付けています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第3条

用語	解説	根拠規定
ぎだい 議題	<p>会議の対象となる案件のことですが、実際の運用では、議決の対象となるもの（議案）に限らず、選挙、委員長報告なども含めて、議題と呼んでいます。議長は、「…の件を議題といたします。」などと宣告します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議規則 第35条
ぎちよう 議長・ ふくぎちよう 副議長	<p>議員の中から議長及び副議長1人が選挙されます。</p> <p>議長は議場の秩序を保持し、議事を整理し、議会の事務を統理し、議会を代表します。</p> <p>副議長は、議長を補佐し、議長に事故あるとき、または欠けたとき議長の職務を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治法 第103～108条
きゆうかい 休会	<p>会期中、1日単位で本会議の活動を休止することです。</p> <p>休日のほか委員会開催など、議事の都合その他必要があるときは、議決によって休会とすることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議規則 第9条
きゆうけい 休憩	<p>会議をその途中で一定時間中断することをいい、議長は、休息、食事、委員会の開催、議事の準備などのために、適宜休憩を宣告することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議規則 第10条
きよしゆ 挙手	<p>議員や町長等が発言しようとするときは、挙手をして、議長の許可を受けてから発言します。</p> <p>また、議案等を採決する場合、起立採決が原則ですが、挙手採決も可能としています。委員会の採決では、本会議と異なり、通常、挙手で採決をしています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議規則 第50条 第80条
きりつ 起立	<p>本会議における表決の方法は、起立を原則としています。</p> <p>議長は、「本案を原案のとおり（又は、委員長の報告のとおり）決することに賛成の方の起立を求めます。」と採決します。ほかに、異議がないことを諮る簡易な表決方法をとる場合もあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会議規則 第80条
ぎりよう 議了	<p>会議に付された事件を審議し、議決を終えることです。</p> <p>閉会の際には、議長は、「以上で、今定例会に付議されました案件はすべて議了いたしました。これを持ちまして、令和〇年第〇回定例会を閉会します。」などと宣言します。</p>	

用語	解説	根拠規定
けいぞく 継続	<p>議会は会期ごとに独立し、会期中に議決に至らなかった事件は消滅して、後会に継続しません。例外として、委員会における議会閉会中の継続審査があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第119条
けつぎ 決議	<p>機関としての議会が行う意思決定のことで、その多くは、政治、行政に関わる課題に対する議会の意思表示です。</p>	
こうじゆつにん 公述人	<p>公聴会に出席して意見を述べる利害関係者及び学識経験者等のことをいい、委員会又は本会議で選定されます。</p> <p>公述人になろうとする人は、文書であらかじめ理由の概要及び案件に対する賛否を申し出ることとされており、公述人は、申し出た人の中から、その案件に対して賛成、反対が偏らないように選ばれます。(類：参考人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第109条⑤ 第109条の2⑤ 第110条⑤ 第115条の2① ・ 委員会条例 第23～26条 ・ 会議規則 第118～121条
こうちようかい 公聴会	<p>委員会又は議会が必要に応じて、広く議会以外の意見を聴き、委員会又は議会での審査又は調査を充実させる等のため、予算その他重要な議案等について、利害関係者や学識経験者等から意見を聴くことを言います。</p> <p>開催の日時、場所及び意見を聴こうとする案件等を公示し、意見を述べる人を公募します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第109条⑤ 第109条の2⑤ 第110条⑤ 第115条の2① ・ 委員会条例 第21～22条 ・ 会議規則 第116～117条
さいけつ 採決	<p>議長や委員長が、本会議や委員会で議員（委員）の賛否の意思表示を求めることを言います。</p> <p>本会議の場合は、原則として起立採決によりますが、起立せずに異議の有無を確認する簡易採決のほか、無記名投票や記名投票による採決があります。(類：表決、異：裁決)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第43条 第77～87条 ・ 委員会条例 第16条
さいけつ 裁決	<p>出席議員の過半数により決する事件について、可否同数の場合に、議長や委員長が可否を決することを言います。</p> <p>(異：採決)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第116条① ・ 委員会条例 第16条

用語	解説	根拠規定
さいたく 採択・ ふさいたく 不採択	議決のうち、請願・陳情について、これを肯定する議会の意思決定を採択、否定する意思決定を不採択といたします。	・ 会議規則 第93条
さんかい 散会	その日の議事日程に記載された事件のすべてを議了し、その日の会議を閉じることです。議長が「本日は、これをもって散会いたします。」と宣言します。(類：延会)	・ 会議規則 第10条
さんこうにん 参考人	委員会又は議会がその調査又は審査のため必要があると認めるときに出席を求め、これに応じて委員会又は本会議で意見を述べる者のことをいいます。(類：公述人)	・ 地方自治法 第109条⑥ 第115条の2② ・ 委員会条例 第26条の2 ・ 会議規則 第122条
しつぎ 質疑	質疑は、現に議題となっている議案等に関し、疑問点を質すことで、町政一般に関する質問とは区別されます。なお、質疑の回数は原則3回までで、自分の意見を述べることはできません。(類：質問)	・ 会議規則 第53条③ 第54条 第58条
しつこうきかん 執行機関	議決機関としての議会に対して、町の事務を行う町長をはじめとする各種の機関（教育委員会、公平委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会など）をいいます。(同：当局)	・ 地方自治法 第7章
しつもん 質問	定例会において、町政一般に関することを問い質すことで、議題となっている議案等に関し疑問点を質す質疑とは区分されます。なお、臨時会では、原則一般質問はできません。(同：一般質問、類：質疑)	・ 会議規則 第60～62条
しめいすいせん 指名推選	議会で行う選挙の中で、当選人となるべき者に異議がない場合の選挙の方法の一つで、やり方は以下のとおりです。 ①選挙の方法の「指名推選」で異議がないか確認する。 ②当選人を指名する人を選び異議がないか確認する。 ③指名した人が、当選人となることに異議がないか確認する。 (類：投票)	・ 地方自治法 第118条②③④

用語	解 説	根拠規定
しょうすう いけん 少数意見 の留保 りゆうほ	委員会の審議において、多数決で決定された事件について少数意見として出された内容を周知するために、委員長が議会へ報告した次に表明できる権利のことであります。	・ 会議規則 第40条 第75条
じょうてい 上 程	本会議で議題として取り扱うことを「上程」といいます。議題とするためには、議事日程に従って、議長が当該案件を議題とする旨を宣告することが必要です。（類：追加議案）	・ 会議規則 第20条
しょうにん 承認 ふしょうにん 不承認	議決のうち、専決処分承認議案について可とするのが承認、否とするのが不承認です。	・ 地方自治法 第179条
しょうにん 常 任 いんかい 委員会	議会の内部組織で、付託を受けた議案などの審査や町の事務に関する調査をそれぞれ分担して詳細に行います。条例で、総務文教常任委員会、民生産業常任委員会、広報広聴常任委員会の3つの常任委員会を設置しています。	・ 地方自治法 第109条 ・ 委員会条例
じよせき 除 斥	議長及び議員は、自分又は親族等（配偶者、父母、祖父母、子、孫、兄弟姉妹）の一身上に関する事件や仕事（業務）等に直接利害のある事件については、その議事（議案）に参加（参加）することができず、その議事が終わるまで議場から退席することをいいます。	・ 地方自治法 第117条
しょうほうこく 諸 報 告	定例会の冒頭に、執行部又は議会から議案等の議決の対象事案とは別に、周知すべき事項について報告がされます。（例：叙勲・褒章等、議員表彰、議員派遣結果等）	
しんぎ 審 議	本会議で、付議事件についての説明を聞き、質疑をし、討論をし表決するという一連の流れを「審議」といいます。	
しんさ 審 査	委員会において、付託を受けた請願等について、質疑をし、討論をし結論を出す一連の過程をいいます。	・ 地方自治法 第109条④ 第109条の2④
じんじあんけん 人事案件	町長が、副町長や監査委員等を選任又は任命するに当たり、議会の同意を得るために提出する人事同意議案をいいます。	・ 地方自治法 第162条 第196条①等

用語	解 説	根拠規定
せいがん 請 願	<p>請願権は憲法で保障された国民の基本的権利で、国民が国や地方公共団体に対し、一定の希望を述べることをいいます。</p> <p>町議会に請願する場合は、議員の紹介により要件を備えた請願書の提出が必要です。議会の審議で採択か不採択かを議決します。(類：陳情)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憲法第16条 ・ 地方自治法第124条 ・ 会議規則第88～93条
せいむかつどうひ 政務活動費	<p>議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員に対し、政務活動費を交付しています。</p> <p>(議員1人当たり年額15万円、収支報告書提出の義務づけ及び概要の公開、領収書の写しの貼付義務等があります。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 政務活動費の交付に関する条例
せつめい 説明のため の出席 の要求	<p>提出議案の説明などのため、本会議や委員会に町長や教育委員会教育長などの出席を求めることです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第121条
ぜんいんきようぎかい 全員協議会	<p>町政の課題、議会の運営等に関し全議員で協議又は調整を行うため、会期の内外を問わず開催するもので、従前は任意の協議の場でしたが、平成20年の地方自治法の改正に伴い、会議規則に規定することにより、正規な「協議の場」としての全議員で組織する「全員協議会」となりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第100条^⑫ ・ 会議規則第127条
ぜんかいいつち 全会一致	<p>本会議や委員会の採決において、出席議員(委員)全員の意思が一致することです。委員長報告の際に、「全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。」などと用いられます。</p>	
せんきよ 選挙	<p>議会で行う選挙は、議長・副議長選挙、一部事務組合議会議員選挙、選挙管理委員及び補充員の選挙があり、選挙の方法は、投票又は指名推選で行われます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第118条 ・ 会議規則第25～34条
せんけつしよぶん 専決処分	<p>議会が議決をしなければならない事項を、町長が議会に代わって意思決定をすることです。時間的に議会の招集を待てない緊急の場合などに、町長が専決処分できることとなっていますが、専決処分の後に、議会に報告し承認を求める議案の提出が必要です。</p> <p>このほか、一定額以下の損害賠償額の決定など軽易な事項で、あらかじめ議決によって特に指定したものは、すべて専決処分ができますが、その後議会への報告が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第179条 ・ 地方自治法第180条 ・ 町長において専決処分することができる事項の指定について(平成22年6月10日議決)

用語	解 説	根拠規定
たいめんほうしき 対面方式	<p>従前の一般質問は、第1回目の質問の際、登壇し議員席に向かって行っていたものを、執行側と対峙し緊張感を持つ形態とするため、議場中央部に「質問席」と「答弁席」を設け、一般質問を行う場合は、この席にて行います。</p> <p>なお、この方式は、平成18年第4回（9月）定例会から導入しています。</p>	
たすう 多数	<p>議会の議決は、出席議員の過半数をもって「多数」とし、決するのが原則です。起立による表決の場合は、議長が起立者の多少を認定します。議長は、「起立多数であります。よって、本案は可決されました。」「起立少数であります。よって、本案は否決されました。」などと用います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第116条 ・ 会議規則 第80条
ただ さいけつ 直ちに採決	<p>議事進行上、議案の提案（趣旨）の細部説明、質疑、討論、委員会付託及び委員長報告を省略して採決することです。議長は、省略する事項を諮ってから採決に入ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第38条
ちようさ 調査	<p>委員会では、付託を受けた請願等の審査のほか、所管の事務に関する調査を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第109条④ 第109条の2④
ちんじよう 陳情	<p>陳情は、特定の事項についての利害関係を有する住民が、議会に実情を訴え、町政執行の適切な措置を要望することです。請願とは異なり、議員の紹介を必要としません。</p> <p>議会に提出された陳情は取りまとめ、議場において全議員及び執行部に配られます。内容によっては、請願と同様の取り扱いとなる場合があります。（類：請願）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第94条
ついかぎあん 追加議案	<p>議案は通例、開会日に提出、上程されますが、その後、会期中に追加して提出、上程される議案のことです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第21条
ていあんせつめい 提案説明	<p>上程議案を審議するにあたり、まず、本会議で提出者から提出の理由やその内容について説明を聞き、質疑を行うことを原則としています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第38条
ていこく 定刻	<p>議長が宣告する「…定刻になりましたので、本日の会議を開きます。」の定刻は、午前10時のことで、大泉町議会の本会議の会議時間は、原則として午前10時から午後5時までと定められています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第8条①

用語	解 説	根拠規定
ていそくすう 定足数	<p>議会の本会議において、有効に議題を審議し、決定するために必要とされる出席議員の数のことをいいます。</p> <p>本会議では、議員の定数の半数以上、委員会では、委員の定数の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第113条 ・ 会議規則第11条 ・ 委員会条例第14条
ていれいかい 定例会	<p>定期的に開催する議会で、毎年の招集回数は条例で定められています。</p> <p>大泉町議会では、毎年4回（3月、6月、9月、12月）としています。（類：臨時会）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第102条② ・ 定例会回数条例 ・ 定例会規則
どうい 同意・ ふどうい 不同意	<p>議決のうち、人事案件（人事同意議案）について、可とするのが同意・否とするのが不同意です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第162条等
どうぎ 動議	<p>条例案、予算案、意見書案、決議案のように、一定の形式や手続を要する議案以外に、会議の議事の進行過程において議会の意思決定を求めて議員から提案されるものです。</p> <p>具体的には、休憩、質疑や討論の終結など、会議の途中で口頭で行われる議事の進行や審議手続に関するものがほとんどですが、日程追加が必要な発議案もあります。</p> <p>動議は、所定の賛成者（大泉町議会では、他に1人以上）があれば成立し、議題となり議決されます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法第115条の3 ・ 会議規則第15～19条
とうきよく 当局	<p>町行政上の任務・責任を負う執行機関のことです。「当局の答弁をもとめます。」という場合に用います。</p>	
とうだん 登壇	<p>演壇に上がることを登壇といいます。</p> <p>主に、議員や執行部の提案説明、委員長報告の際に行われます。（類：演壇）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則第49条
とうひょう 投票	<p>選挙の際に行う投票（類：指名推選）のほかに、議案等で特に重要な案件の採決の際では、投票により行う場合があります。また、その中でも、記名、無記名の投票があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則第81～84条 第25～34条
とうべん 答弁	<p>本会議、委員会などで、議員（委員）の質疑、質問に対して、町長や関係部長（課長、係長など）が答えることです。</p>	

用語	解 説	根拠規定
とうろん 討論	<p>採決の前に、議員はその案件に対して、賛成か反対かの自己の意見を表明することができます。</p> <p>自己の意見に反対の議員や賛否の意思を決めかねている議員に対し、自己の意見に賛同するよう理由を述べます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第43条 第51条
とくべついいんかい 特別委員会	<p>常任委員会のほかに、特定の事件を審査、調査するために設置する委員会で、議決により設置されます。</p> <p>現在、「新庁舎建設特別委員会」が設置されています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第110条 ・ 委員会条例 第5条
にげん 二元 だいひようせい 代表制	<p>地方自治体では、国の議院内閣制と異なり、首長と議会議員を住民が直接選挙で選ぶという制度を採っており、これを「二元代表制」といいます。</p> <p>ともに住民を代表する首長と議会が相互の抑制と均衡によって緊張関係を保ちながら、議会が首長と対等の機関として、自治体の運営の基本的な方針を決定（議決）し、その執行を監視し、また、積極的な政策提案をとおして政策形成の舞台となることこそ、二元代表制の本来のあり方であるといえます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会基本条例 前文
にんてい 認定・ ふにんてい 不認定	<p>議決のうち、認定議案について可とするのが認定、否とするのが不認定です。不認定は、「認定しないものと決する。」といえます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第96条① 第233条③
はか 諮る	<p>議事進行の上で、議長がある事柄に対して、「お諮りいたします。本件は…いたしたいと存じますが、ご異議ございませんか。」と議員の異議の有無を問う場合等に使われる慣例的な表現の一つです。</p>	
はつぎ 発議	<p>議会において、議事の対象となるべき問題を提出することをいいます。議案の場合は提案ともいいます。なお、動議の提出も含まれます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第13条
はつげん 発言	<p>議会の会議における発言は、提案説明、質疑、質問、討論、動議、委員長報告など様々です。本会議では、いずれも議長の許可が必要です。なお、委員会においては、委員長の許可が必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第49～59条

用語	解説	根拠規定
はつげんつうこく 発言通告	<p>本会議において、一般質問及び討論をしようとする者は、原則として事前に、一般質問にあつては文書（通告書）により要旨などを、討論においては口頭で賛成・反対の意思を議長に届け出ます。</p> <p>この他に慣例として、各本会議終了時に町長より、開催お礼の発言の通告がなされています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第60条③
はんもん けん 反問(権)	<p>定例会又は臨時会及び委員会に出席要請された町長等は、議長又は委員長の許可を得て議員（委員）の質問等に対して、反問（反対に質問をする）ことができるよう「反問権」を議会基本条例で規定しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会基本条例 第10条 ・ 会議規則 第50条の2 ・ 委員会条例 第15条の2
ひょうけつ 表決	<p>本会議で議会の意思を決定するため、議長の要求に応じて、出席議員が賛成又は反対の意思を表明することをいいます。</p> <p>「採決」は、議長が表決をとる行為のことです。</p> <p>委員会の場合は、委員会の意思を決定するため、委員長の要求に応じて、出席委員が賛成又は反対の意思を表明することをいいます。（類：採決）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第116条 ・ 会議規則 第43条 ・ 委員会条例 第16条
ふぎ 付議	<p>案件（事件）を議会の審議に付すことです。</p> <p>臨時会の場合は、あらかじめ町長が付議すべき事件を告示することが必要です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第102条④
ふたく 付託	<p>通常は請願について、所管する常任委員会に請願の審査を託すことです。</p> <p>本会議の質疑が終了した後、さらに詳しく検討を加えるため、所管の常任委員会、議会運営委員会又は特別委員会に審査を託すこともあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第38条 第39条
へいかい 閉会	<p>定例会や臨時会の議会を閉じることです。付議された事件がすべて議了した後、「これをもって、令和〇年第×回定例会（臨時会）を閉会いたします。」と議長が本会議で宣言します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第102条⑦ ・ 会議規則 第7条

用語	解 説	根拠規定
へいかい ちゆう 閉会中の けいぞくしんさ 継続審査・ ちようさ 調査	<p>付託された請願について委員会での審査で結論が出ない場合に、閉会中も付託された委員会が継続して審査・調査を行うことで、議会の議決が必要です。</p> <p>各常任委員会・議会運営委員会において、閉会中も委員会活動を行うべく、所管事務事項について閉会中の継続調査の申出がされています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第109条⑨ 第109条の2⑤ 第110条④ ・ 会議規則 第74条
ぼうちようきそく 傍聴規則	<p>本会議の傍聴に関し、手続、傍聴人の守らなければならない事項などを定めた規則です。(議会傍聴の手続き：役場4階議会傍聴受付にお越しく下さい。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第130条③ ・ 傍聴規則
ぼうちようせき 傍聴席	<p>一般席と報道関係者に区分してあります。本会議における傍聴席の定員は80人ですが、新型コロナウイルスの影響により隣の席との距離を確保するため席数を40席としています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 傍聴規則 第3条
ほんかいぎ 本会議	<p>全議員で構成する議会の会議のことで、定例会と臨時会に区別されます。</p> <p>本会議は、その運営を議長が主宰し、議場で開きます。これとは別に、議員の一部をもって構成する委員会があります。</p>	
よれい 予鈴	<p>本会議が始まる周知方法として、本会議開始5分前より議事堂(役場庁舎4階)に「大泉町の歌」を放送し、予鈴としています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第8条③
りんじかい 臨時会	<p>定例会以外に必要なとき、特定の事件に限り審議するために招集される議会です。災害時等の補正予算案審議、その他議会の議決すべき事件などで緊急を要するときに開催します。(類：定例会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第102条
りんじちよう 臨時議長	<p>一般選挙後の最初の議会など、議長の職務を行う者がいないときに、議長が選挙されるまでの間、当日議場に出席している議員のうち、最年長者が臨時に議長の職務を行います。</p> <p>なお、臨時議長は議長を選挙することがその職務とされ、仮議長とは区別されます。(類：仮議長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治法 第107条
れんごうしんさ 連合審査	<p>複数の委員会が、合同して関連する案件を審査、調査するやり方で、連合審査として開かれます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議規則 第70条